



目指す学校像

明日また来たくなる学校

生命輝く赤中生



「学校ブログ」掲載中!

赤見台中HP



検索


## 実りの秋に向けて

校長 穠山 孝幸

立秋をとうに過ぎてもまだまだ暑さ厳しく、また、台風の影響もあり蒸し蒸しとした日が続いていますが、40日間の夏休みが終わり、新しい仲間を迎えて全校生徒442名で2学期がスタートしました。特に大きな事故等なく、2学期開始を迎えることができましたのは保護者や地域の方々のご協力のお陰と感謝申し上げます。

また、夏休み前半の全校三者面談期間では、保護者の皆様には暑い中ご来校いただきありがとうございました。お子様や学校教育について共有できる貴重な機会とすることができました。重ねてお礼を申し上げます。

この夏休み期間も、赤中生の活躍が見られました。部活動でコンクール参加や県大会、関東大会、そして全国大会へ出場する等、もてる力を精一杯発揮していました。選手を含む県大会等に参加した皆さんは、暑い中本当にご苦労様でした。競技に参加した選手たちはハレの舞台上で強い気持ちをもって頑張ってくれたと思います。また、鴻巣市 SDGs 未来会議に3年生3名が参加し、よりよいまちづくりのための提案を鴻巣市議会の議場で立派に発表しました。鴻巣市中学校生徒海外派遣研修には3年生2名が参加し、オーストラリアでの8日間の研修の成果をクリアこうのすでの報告会にて伝えてくれました。暑い中でしたが、赤中生の代表としての頑張りが随所に見られた夏休みでした。

今年の夏はパリオリンピック 2024 が開催され、私もできる限 **PARIS 2024** りテレビ観戦をしました。スケートボード、レイキン、柔道、バレーボール、バスケットボール、フェンシング、バドミントン、 ゴルフ、卓球、陸上、水泳など日本人選手の活躍や印象に残る場面が数多くありました。その一方で開催地の環境や選手への SNS 等での誹謗中傷の問題等もありました。また、夏の風物詩として高校野球甲子園大会でも今年も熱戦が繰り広げられていました。暑さ対策のため2部制の導入等新しい試みもありました。それぞれ実施するうえで課題はありますが、勝利に向かって一生懸命にプレーする姿は美しく、感動を覚えますし、国境や地域を超えて無条件に応援したくなります。そして、自分も頑張ろうという勇気をもられます。

さて、振り返ってみて生徒の皆さんの夏休みはどうだったでしょうか。1学期の終業式で、ぜひ有意義な夏休みを過ごしてほしいと話しましたが、どうでしょうか。学習、部活動、読書等計画を立てて取り組めたでしょうか。趣味、旅行、家族との時間等よい思い出はできたでしょうか。新たなことにチャレンジできたでしょうか。夏休みの経験が今後の自分に必ずや生かされると思います。

この2学期には、合唱コンクールがあります。1学期の体育祭と同様、クラス単位で取り組む行事となりますが、目標に向かって頑張ってもらいたいと思います。皆で協力して努力することや意見を出し合って工夫を凝らしてよりよいものにしていくことなど、クラスで取り組むことの楽しさや苦勞を乗り越えたときの喜びを味わってほしいと思います。実りの秋に向けて、この2学期に大きく成長することを願っています。